

RI第2620地区 静岡第3分区

沼津柿田川ロータリークラブ



RI会長 K. R. ラビラビンドラン
 RI第2620地区ガバナー 野口 英一
 会長 梅田 欣一
 幹事 小川 隆洋
 例会日時 毎週月曜日 12:30点鐘
 例会場 沼津卸商社センター 2F
 〒411-0912 静岡県駿東郡清水町卸団地203
 TEL 055-971-6500
 〒410-0312 沼津市原1771-2 増田方
 TEL 055-969-2321 FAX 055-969-2322
 E-MAIL officework@rcj-nk.org

事務局

会長挨拶

第1595回例会 会長挨拶

会長 梅田欣一

みなさん、こんにちは。

本日は、MyRotaryから、水保全に関する記事の一つ紹介します。

去る3月22日は、「世界水の日」でした。MyRotaryでは、「命を救うきれいな水を」ということで、ロータリー会員はきれいな水の提供に力を注いでおり、ガーナの人びとの暮らしを変える水プロジェクトの様子が動画で見ることができます。

発展途上国では、汚染水により命を落とす子どもが後を絶ちません。きれいな水は人間が健康に暮らすための第一条件。毎年250万人の命を救うため、ロータリーはきれいな水の提供に力を注いでいます。

世界には、きれいな水を利用できない人が7億4800万人、汚染水による下痢性疾患で命を落とす子どもが毎日3000人以上いると言われています。このような現状を受け、ロータリーは世界各地できれいな水をもたらすための多くのプロジェクトを実施しています。例えばガーナでは、ロータリーの補助金を活用し、会員が複数の村に20以上の井戸を設置したほか、30の井戸を修復しました。さらに、治療しなければ障害や死にいたる伝染病、ブルーリ潰瘍に関する教育と治療も行っています。この活動で、7万人近い人びとが恩恵を受けています。

このブルーリ潰瘍とは、細菌の一種である抗酸菌などが原因で発症する、潰瘍などの皮膚病変を主症状とする感染症です。「ブルーリ潰瘍」の名前の由来は、アフリカのウガンダのブルーリ地方で、「大きな皮膚潰瘍」の患者が多かったことから「ブルーリ潰瘍」といわれてきたそうです。その後西アフリカ地域をはじめ、オーストラリア、メキシコなどでも報告されてきたということです。

日本では1980年にブルーリ潰瘍に類似した症例が報告され、その後患者が増えてきたということです。原因菌は、通常は土中や水中などの環境中にいる菌で、至適温度は30-33℃だが、25℃程度の室温でも増殖可能との事です。

MyRotaryに載っている動画は、長さが4分14秒です。その地域では、濁った川の水を生活用水として利用していました。足の皮膚がブルーリ潰瘍に冒されてしまった人たちが病院で治療を受けている様子もあります。そこへロータリーが、井戸を掘り、人々がきれいな水を使えるようにしました。それらの様子が動画の中に収められています。4分14秒とそれ程長くないので、みなさん、是非、ご覧ください。

本日の会長あいさつは、以上です。

幹事報告

■ 事務連絡 ■

- *ガバナー事務所より
ガバナー月信4月号 到着
地区大会記念誌 到着
- *ロータリーの友事務所より
ロータリーの友4月号 到着
- *米山梅吉記念館より
館報 到着
- *国際ロータリー日本事務局より
太田会員へポールハリスフェローピン+1 到着
- *新富士ロータリークラブより
クラブ計画書 到着

■ 例会変更 ■

- *富士山ロータリークラブ
4月20日(水)→夜間例会
5月4日(水)→祝日休会
5月25日(水)→夜間例会
6月15日(水)→特別休会
6月22日(水)→夜間例会

■ 週報到着 ■

沼津西RC・新富士RC

会員慶事

【本人誕生日】

古泉榮一

【配偶者誕生日】

安本あかね様

【結婚記念日】

菊地勝男・美佐子夫妻
伊藤毅・和子夫妻

PETS報告

2016-2017年度幹事 安本晋

本日は、ペット報告、また妻の誕生日をお祝いいただく日であるにもかかわらず欠席となりまことに申し訳ありませんでした。書面でのご報告となりましたこと、お詫び申し上げます。

おそらく、大石次期会長からは研修セミナーにつきまして睡眠学習を含むすばらしい成果をご報告いただけているはずであり、次期ロータリー活動についての指針がお話されたものと思います。

私は、新人幹事として、今後幹事をなさる予定の方へのご案内、またすでに幹事をされた方には思い出話として当日の様子をお話したいと思います。

まず、ペットとは、会長エレクト研修セミナー(Presidents-elect Training Seminars)のことをいいます。この研修は、ガバナー・エレクト(次期ガバナー)の指示の下に地区研修リーダーによって実施されるプログラムで、その目的はクラブの会長に、クラブの会員基盤を維持、増大させる、地域社会のニーズに対応するようなプロジェクトを実行し、成功させる。寄付およびプログラムに参加することでロータリー財団を支援する。クラブレベルを超えてロータリーに奉仕する能力のある指揮者を育成する。といったロータリー活動の能力、知識およびやる気を育成することにあることです。

今年は、3月21日の祝日に静岡市の「あざれあ」にて11時30分から16時30分までの間に行なわれました。貴重な祝日に、と思われる方もいるかもしれませんが、他地区では2日間かけて行なわれているところもあるようで、当地区の日程は比較的良心的、ということが出来ると思います。

さて、研修の主催者である、次期ガバナーの清水中央ロータリーの生子ガバナーエレクトは、今年の1月17日から26日の間、世界中のガバナーと一緒にサンディエゴで開かれた国際協議会での研修でガバナーになるための訓練を行ってきたそうです。その訓練を踏まえて、今回の研修セミナーを主催されました。しかし、世界中のガバナーエレクトが一堂に会する国際協議会はさぞ華やかで刺激的な体験であろうと思う一方、その間本業はどうされたのだろうかという俗な疑問も頭をよぎりました。

役員の挨拶、出席者の紹介の後、ガバナーエレクトが研修の成果を発表されました。通常は名目的なものを出ない役員からの挨拶ですが、現ガバナーから大変重要なご指摘がありました。それは、現在ロータリーの規約の見直しが行なわれており、これが実質的に行なわれるのは再来年度からであるものの、かなり大きな改革がされる予定であるとのことでした。

その中で最も大きなものは、例会の開催回数は、各ロータリーの判断にゆだねる、というもので紹介されました。これは、皆様すべてに影響のある非常に大きな改革です。来年度ではまだ関係がないものの、皆様のなかでどのようなロータリー活動をしていきたいか、そのためにクラブはどうあるべきかを柔軟に考えられる機会として、それぞれ考えを準備しておくのが望ましいように感じました。

さて、来年度のことに戻りまして、ガバナーエレクトから国際協議会を踏まえた来年度の発表は、来る年度の RI(国際ロータリー)テーマや、効果的な奉仕プロジェクト、ロータリー財団についての説明や紹介、情報伝達といった多岐に渡ります。

次年度のRI会長はジョン F ジャーム(米国テネシー州、チャガヌーガ・ロータリークラブ所属)というとても大柄なアメリカ人でエン지니어のコンサルティング会社のCEOを勤めているそうです。ロータリー入会は1976年です。私が生まれる前からロータリーアンとして活動されており、現在はインターナショナル・ポリオプラス委員会の委員長を勤めているとのことでした。

次年度のテーマは「人類に奉仕するロータリー」です。これは、「ロータリーを通じて社会に貢献する大きな機会、人類へのロータリー奉仕を通じてより良い世界を築く機会です」とのことです。来年度は、世界で最後のポリオ症例が報告される年となるかもしれません。そうなれば、ロータリーの歴史において最も重要な年となります」そして、いずれポリオ撲滅が実現したときについ

て、その先を今から準備しておくことが重要だとのことでした。また、ロータリアンについて、ロータリーがさらに前進するには、意欲と思いやりと知恵にあふれた人たちがもっと必要です。若い人たちが、退職後間もない人たちが、現役で仕事している人たちが皆、ロータリーに入会して活動したいと感じるような、柔軟性のあるクラブが必要です、と述べられているようでした。

さて、生子ガバナーエレクトが、最も強調されていたことが、来年度はロータリー財団設立100周年の記念すべき年であるとのことでした。そのなかで、よりロータリー財団の活動をより活性化させるべく、財団への寄付の呼びかけがありました。当クラブにとっては苦々しい各クラブごとの寄付額のグラフを見せられ、目標である一人150ドルの達成を呼びかけられました。

また、財団100周年の中で、この財団100周年を祝う行事、できれば地域の皆共同で行なえれば望ましいとのことでした。この点は、次期財団委員長とご相談し、良い案を出して生きたいと思えます。私は腹案として、沼津4クラブ合同で地域の新聞に広告を出せれば、地域の方に対するアピールにもなるかな、などとも考えておりますが、これは妄想の域を出ませんので、皆様からもお考えがあれば寄せていただきたいと思います。

その後、各分区毎に部屋に移動し、昼食をとった後、各分区毎の会長幹事、ガバナー補佐エレクトとの間で分区会議を開きました。

ご存知のとおり、当クラブが所属する沼津第3分区は、沼津、沼津北、沼津西、沼津柿田川、富士、富士宮、富士山吉原、富士宮西、新富士の9ロータリークラブから成り立っております。富士地区のロータリーとはこの日始めて会う方もいらっしゃいましたが、沼津の3つのロータリーは合同例会等を通じてだいぶ顔見知りしており、落ち着いた雰囲気の中で話し合いが出来ました。分区の会議といっても実質的には各クラブの次期会長、幹事、富士宮ロータリークラブ所属の前嶋ガバナー補佐の自己紹介が大半であり、懇親の実が良かったです。

なお、この中で次期ガバナー補佐より、現在、期首、ガバナー訪問、期末訪問の3回行なっているガバナー補佐公式訪問について、他のガバナー補佐から回数が少ないとの指摘があり、10月、12月にも訪問したい、とのこと申し出がありました。皆様、ガバナー補佐がいらっしゃる際には、どうぞよろしく願い致します。

さて、その後は、寄付について講話がありました。そのお話の中でご指摘があったことは、ロータリーは、再三寄付をお願いすることが多く、そのことに違和感を覚えていらっしゃる方もいると思う。ロータリー活動において寄付が重要であることはご理解いただきたいが、ただ、寄付をするだけではなく、是非地区補助金や可能なところはグローバル補助金の申請を積極的に行なっていたら、寄付したお金を奉仕活動のために役立てて言って欲しいとのことでした。

来年度も柿田川清掃事業のために地区補助金を利用する予定です。皆様是非ご協力いただきたいと思います。

このようにして研修セミナーを無事終えてまいりました。このセミナーに出席することで私もいよいよ冗談ではなく本気で幹事に就任するのだな、という自覚が芽生えてまいりました。

みなさま、来年度は、なによりも楽しいロータリー活動にできれば、と思っております。甚だしい未熟者で皆様に想像をはるかに超えるご迷惑をおかけすると思いますが、くれぐれもよろしくお願い致します。

以上

委員会報告

奉仕プロジェクト委員会

委員長 菊地勝男

4月24日(日)の早朝例会は柿田川公園で点鐘7時です。宜しくお願い致します。

ポールハリスフェロー

太田昭二会員にポールハリスフェローのバッジが届きました。



スマイル報告

小川隆洋 ローター財団へ。
伊藤 毅 結婚記念祝いありがとうございます。
伊藤 毅 ローター財団へ。
古泉榮一 本人誕生日。
古泉榮一 ローター財団へ。
齋藤悦生 ローター財団へ。
野口郁夫 ローター財団へ。
濱田清明 ローター財団へ。
濱田清明 今月もよろしく。
太田昭二 ローター財団へ。
川口尚史 ローター財団へ×2口。
前田 守 ローター財団へ×2口。

第11回 理事会報告

①5月の例会プログラムについて

2日 裁量休会
9日 1599回 クラブ協議会(会員拡大) ※理事会/11:30
16日 1600回 →例会変更 19日(木) 米山梅吉記念館例会
23日 1601回 ガバナー補佐期末訪問
30日 1602回 外部卓話(三島ライオンズクラブ前田磨様)

②地区研修・協議会について(4/10・日・グループ)

・交通 JR(三島9:01発→沼津9:11発→東静岡10:03着)
・出席予定者 大石、安本、小川、梅田、川口、齋藤、徳山、荒川、事務局

③早朝例会について(4/24・日・点鐘7時・柿田川公園)

・場所 柿田川湧水公園(集合は駐車場)
・服装 クラブポロシャツ+クラブジャンパー

④米山梅吉記念館春季例祭について(4/23・土)

・参加者 小川幹事、川口委員長、大石委員。

⑤クラブ協議会について(5/9)

・会員増強拡大について。

⑥米山梅吉記念館例会について(5/19・木・点鐘12:30)

・賛助会は一人3千円(個人2千円+クラブ負担千円)
本日の例会より川口委員長が集めます。

⑦沼津西RC創立記念式典について(5/29・日)

・出席者 梅田会長、小川幹事
・ご祝儀持参

⑧会員増強退会防止について

・坪内様から入会申込書が届きました。理事会にて承認。
全会員へ諾否をFAXします。

⑨最終家族例会について(6/25・土・18:00)

・場所 弘法の湯(伊豆の国市長岡1110)

本日のゲスト・ビジター

ビジター 沼津北RC 大野数芳様
ゲストはありませんでした。

◆次回例会プログラム◆ クラブ協議会(地区研修協議会報告)

出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席計算に 用いた出席者	出席率	3月14日 修正出席率
20名	18名	13名	72.22%	85.00%

出席: 古泉・太田・野口・菊地・前田 他 計13名

欠席: 安本・荒川・山本・中田・小早川 計5名

MU: 計0名